

ライフイベント 社会・経済状態を反映して設定する

- 1 ライフイベントは、人の生涯で発生する出来事です。自動車を購入する、旅行に行くことはライフイベントですが、給与所得を得ることはもっと大切なライフイベントです
- 2 少なくともお金を得たり、使ったりする出来事はすべてライフイベントです。かつて、給与所得は年齢とともに上昇していました。しかし、現在では様相が異なります
- 3 年齢とともに、給与所得を3つに区切って、それぞれ独立したライフイベントにする。現在の社会・経済状態を踏まえたライフイベントを考えることが大切です

ライフイベント

ライフイベントというと、「自動車を購入する」とか「旅行に行く」といった本当のイベントを考えてしまいがちですが、ファイナンシャル・プランニングにおけるライフイベントとは、お金を得たり、使ったりする原因となるものすべてを指します。

給与を得るのも、生活費を支出するのも立派なライフイベントです。

給与所得の考え方

かつて、給与所得は社会人になってから退職するまで、毎年数パーセントで増加するライフイベントと考えられていました。

しかし、現在では違います。4代になると給与の上昇は若いときほど伸びないのが通常です。定年前になると、給与が下がるということも考えられます。



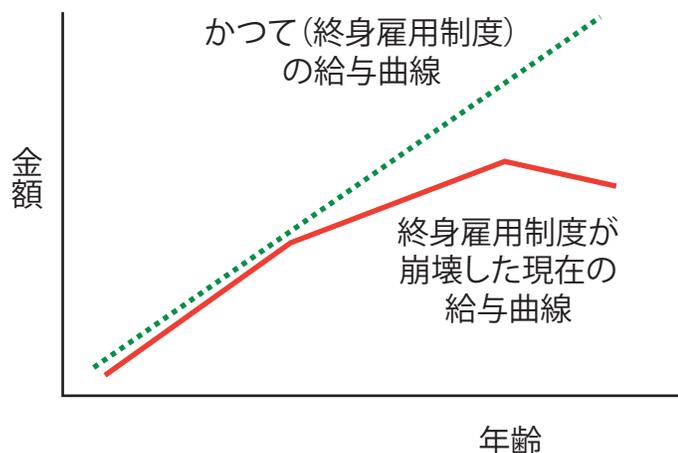
キャッシュフロー表を作るとき

キャッシュフロー(CF)表はライフイベントの集合を数値で表したものです。ですから、ライフイベントが、現在の社会・経済状態を反映していないのであれば、その積み上げとしてのCF表も意味のないものになってしまいます。

ライフイベントの見積もりはとても大切なことなのです。

さらに、転職などの機会が増えたことを考えれば、給与所得は単一のライフイベントと考えるほうがよいでしょう。

給与所得はライフイベントです



ライフプランに関する相談はお気軽に

Barms
Corporation Co., Ltd.

発行元:バームスコーポレーション(有)
神奈川県川崎市宮前区土橋2-2-2-301
tel (044) 854-8480 fax (044) 856-7268
✉ pinfo@barms.jp 🌐 <http://www.barms.jp>